



今月のシーニック・バイウェイ



旧国道388号桜並木(尻浦展望台より) 北浦Cから車で10分

旧国道沿いの展望台から撮影した桜並木です。(H27. 4撮影)
沿道は毎年、開催される「北浦さくらマラソン大会」のコース(今年は4/2(日)開催)にもなっており、桜のトンネルの中を走るランナーの皆様が羨ましい限りです。(〇)



地域で活動する人



◆安部 文子(アベ フミコ)さん

～日赤奉仕団代表～

蒲江竹野浦河内地区の婦人会長を28年間務められ現在は日赤奉仕団代表の安部文子さん。「住みよい地域社会をつくろう。」をモットーに活動されています。

43才で一念発起して自動車の運転免許を取得し、以来無事故(無違反?)で今でも生活の足として普通車を運転し活発に行動されています。地域活動ではおばちゃんバイキングで、野菜天ぷら、くじゃく等を担当。取材の翌日もおばちゃんバイキングの予定でした。なかでも魚のすりみの中にゆで卵をいれて揚げた郷土料理のくじゃくは、赤、緑の色粉を使い羽を広げた孔雀のイメージを表現するそうです。砂糖と塩で味を調え1度蒸した後に揚げることで安部さんオリジナルのくじゃくの旨さを出しています。

カラオケ、卓球、グランドゴルフを趣味として毎日、活発に活動されています。ちなみにカラオケの十八番は、瀬川瑛子の「命くれない」だそうです。



安部 文子さん

日赤奉仕団とは：
「住みよい地域社会をつくろう」をモットーに蒲江地域の様々なボランティア活動に取り組んでいます。

安部代表のコメント：

「(自分で選んだ道は最後までやりとおす)をモットーに近隣の側溝の消毒やゴミ収集場の掃除をすることで微力ながら住みよい地域社会活動に貢献していきます。」と元気一杯かくしゃくと語っていただきました。



食



◆第3回 さいき食のスター誕生！

平成29年2月11日に「第3回さいき食のスター誕生！決勝大会」がマリンカルチャーセンターで行われました。

佐伯にゆかりある食材を1種類以上使用し商品化を前提とした創作メニューを募集したところ、18作品の応募がありました。厳正な審査の結果、8作品が入賞し一次審査を通過。

地元審査員の厳正なる審査の結果、入賞作品8作品の中からグランプリ作品が決定しました。会場は、新たな味力メニューの誕生を喜ぶ人などで賑わいました。



グランプリの“なすじゃむ”
(審査員講評として)「色がすごく綺麗」、
「常温で保存でき、日持ちするのが利点」



歴史・文化資源



◆宮野浦八十八ヶ所大師祭(延岡市北浦町宮野浦)

毎年4月中旬～下旬に催される宮野浦八十八ヶ所大師祭の歴史は古く、江戸時代後期に疫病や災害が頻繁に起こったことから宮野浦の中野忠五郎の発願で四国霊場八十八ヶ所を勧請し、1819年に四国八十八ヶ所の土と延岡で刻んだ石仏を船で搬入したのが由来と伝えられています。



↑ 遍路道の眺望「海が青い」
← 一番札所の「お大師さん」

◆大間海岸のさざれ石 北浦ICから車で10分

大間(おおま)海岸は、潮が引くと一面に岩肌が顔を出し、「君が代」で歌われる「さざれ石」が見られるポイントです。

大間海岸は「宮野浦八十八ヶ所」の遍路道の一部にもなっており、今年4月23日に大師祭が催され、多くの参拝客が訪れます。



さざれ石



自然・景観資源



◆地下の茶山(茶山展望台)

北浦ICから車で10分

地下(じげ)地区の茶山は、「日本の里100選」に選ばれた風景で、約11haの茶畑が山の急斜面に広がっています。

茶畑には早生品種の「さえみどり」「さきみどり」などが栽培されていて、4月には1番茶の摘み取り作業が始まり、新茶が販売されます。





自然・景観資源



◆天満社のクス(佐伯市蒲江大字葛原) 蒲江ICから車で15分

クスノキは、クスノキ科の常緑高木で日本の暖地、台湾、中国などに分布します。直径2m以上の大木も多く知られ、樹皮には細かい割れ目があります。葉は互生し卵状楕円形で、5～6月頃に黄白色六弁の小花が咲きます。日本でも暖地で天然記念物となったものはクスノキが最も多く、やや寒い地方のスギの大木と双壁をなします。

クスノキは、樟脳(ショウノウ)の材料としても有名です。また材は硬く光沢があり、高級建築材、家具材、船舶材などにもちいられます。

このクスノキは、樹齢500～600年と思われる巨木で胸高周囲3.9mほどです。



天満社のクス

(旧蒲江町教育委員会立て看板より)

お知らせ

◆5万株のツツジが待っています！

4月蒲江の西野浦では「仙崎公園のつつじ」が咲き始めます。

仙崎公園は、標高412mの仙崎山山頂近くにあり、北側に入津湾、南側に太平洋を遠望する広大なパノラマが魅力で、5万株もの野生のフジツツジが咲き誇ります。

是非、御来園ください！



仙崎公園のつつじ

◆問い合わせ先: 佐伯市蒲江振興局地域振興課
TEL 0972-42-1111(平日8:30～17:00)

シーニック・バイウェイとは:

アメリカが発祥で景観のよい(シーニック)、寄り道(バイウェイ)と言う意味です。日本では、風景街道と訳され、道を通して地域活性化や観光振興に取り組んでいる138のルートがあり、九州には14のルートがあります。

本誌では、九州風景街道の一つ「日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)」の活動や旬の地域資源等について、地域の皆さんや道路利用者の方々にご紹介するものです。

◆ 日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)のホームページ ◆

URL: <http://nippou-kaigan.kirara.st/>



旬の情報を毎月発信中 皆様からの情報提供をお待ちしております。

問い合わせ先

日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

〒876-0848 大分県佐伯市城下東町8-19 (佐伯市観光協会内)
tel 0972-23-1101 fax 0972-23-1146

(行政側問い合わせ先)

佐伯河川国道事務所 工務課
tel 0972-22-1880 fax 0972-23-2726

延岡河川国道事務所 調査第二課
tel 0982-31-1155 fax 0982-22-0489